

週間市場レポート (2021年2月8日~2月12日)

1) 先週の市場動向

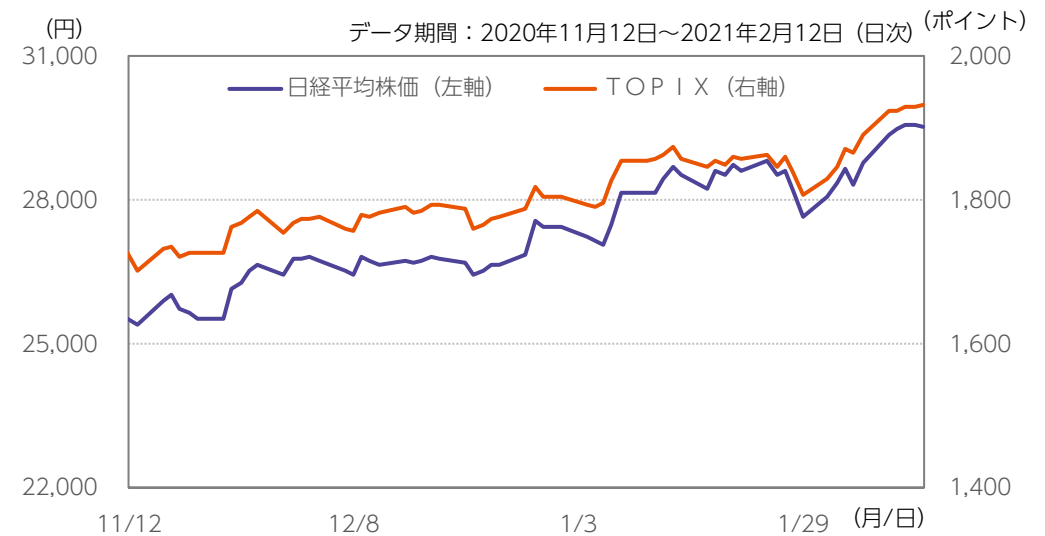
指数名	国	前週末 2021/2/5	先週末 2021/2/12	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,779.19	29,520.07	2.57 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,890.95	1,933.88	2.27 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		31,148.24	31,458.40	1.00 ↗
S & P500種指数		3,886.83	3,934.83	1.23 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,655.77	3,695.61	1.09 ↗
S & P/ASX300指数		6,828.13	6,795.70	▲0.47 ↘
上海総合指数		3,496.33	3,655.09	4.54 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		1,110.24	1,134.87	2.22 ↗
東証REIT指数		1,851.64	1,926.10	4.02 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		736.35	747.03	1.45 ↗
ASX300 REIT 指数		1,408.70	1,383.40	▲1.80 ↘
グローバルREIT (除く日本)※		176.74	178.74	1.13 ↗
日本10年国債 (%)		0.060	0.068	0.008 ↗
米国10年国債 (%)		1.164	1.208	0.045 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.448	▲0.428	0.020 ↗
英国10年国債 (%)		0.482	0.517	0.035 ↗
ドル/円		105.39	104.94	▲0.43 ↘
ユーロ/円		126.92	127.16	0.19 ↗
英ポンド/円		144.79	145.47	0.47 ↗
豪ドル/円		80.92	81.43	0.64 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,985.01	3,219.87	7.87 ↗
WTI原油先物 (ドル)		56.85	59.47	4.61 ↗
CRB指数		181.39	185.29	2.15 ↗
アレリアンMLP指数		895.11	918.32	2.59 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。

国内企業の業績改善が顕著となる中、米国で経済対策が早期に成立するとの期待が高まり、前週末から引き続き4日連続で上昇し、10日（水）の終値は1990年8月以来、およそ30年半ぶりの高値となりました。4日間で1,200円超上昇したことから短期的な過熱感が意識され、週末は小幅に下落しました。

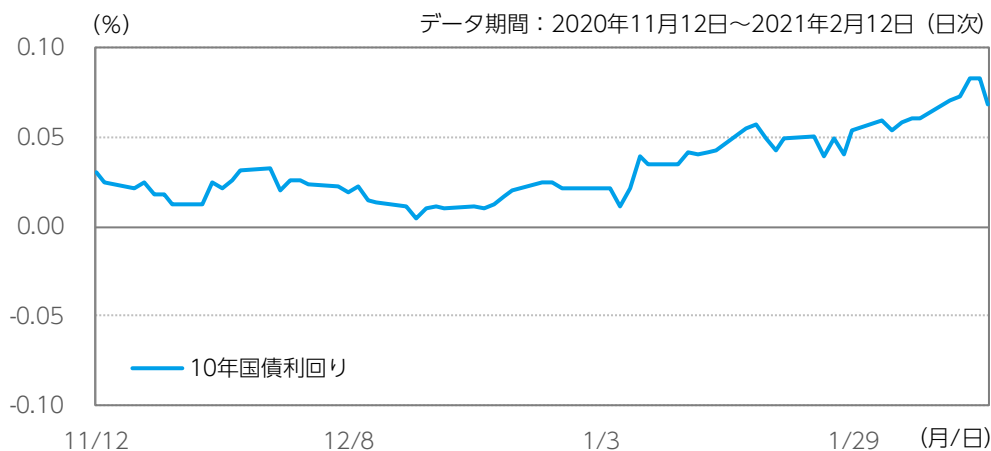


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2上海総合指数は春節(旧正月)連休中のため、2021年2月5日と2月10日の価格を掲載。

≪ 債券 ≫

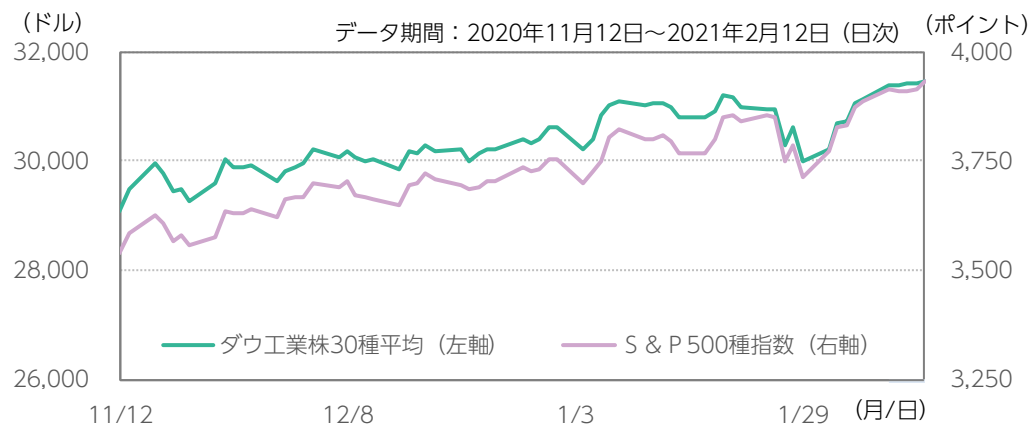
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。週初は、米追加経済対策の早期成立への思惑から米長期金利が上昇した流れを受け、国内金利も上昇しました。週末には、日銀が3月の政策点検で、必要に応じてマイナス金利の深掘りを検討するとの一部報道を受け、金融緩和が継続されることへの安心感から買いが優勢となりました（利回りは低下）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

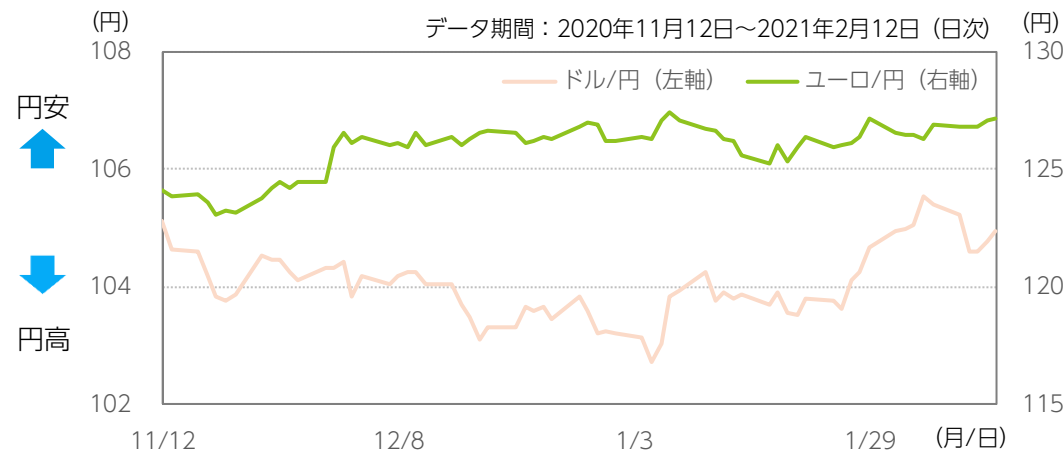
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。2021会計年度予算決議案が上院・下院両院で可決され、民主党単独で追加経済対策を早期に成立させることが可能となり、週初は上昇しました。年初から上昇が目立った景気敏感株などの利益確定売りに押される場面もあったものの、追加経済対策成立への期待は根強く、週末にかけても上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。9日（火）に米長期金利が低下し、米長期金利上昇の不服感が意識されたことから、円買い米ドル売りが優勢となりました。週末にかけては、足元で円相場の上昇が続いた反動から、持ち高調整目的の円売り米ドル買いがやや優勢となり、週間では横ばいとなりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米追加経済対策の早期成立期待から、日米両市場ともに上昇となりました。

イエレン財務長官は、バイデン大統領が掲げる1.9兆米ドル（約200兆円）規模の追加経済対策が実施されれば労働需要を創出し、2022年にも完全雇用に戻るとの期待を示し、米議会に早期成立を促しました。2021会計年度予算決議案が5日に可決され、民主党単独で追加経済対策を早期に成立させることが可能となりました。米民主党は現行の失業保険の追加給付が失効する3月中旬までに追加経済法案を成立させる見込みであり、米国の景気回復期待が高まっています。

今週の日米株式市場は、引き続き米追加経済対策の成立期待から上昇基調を辿ることが予想されるものの、短期間での急上昇による警戒感は依然として根強いことから利益確定売りに押され、上値の重い展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>